

高円宮杯 J F A U-15 サッカーリーグ 2023 長野 南信 開催要項

- 1、趣 旨 日本サッカー界の将来を担うユース（15歳以下）選手のサッカー技術向上及び戦術理解と、健全な心身の育成を図ると同時に、リーグ文化の醸成を図る。
- 2、主 催 （一社）長野県サッカー協会
- 3、主 管 （一社）長野県サッカー協会 3種委員会
- 4、運 営 <トップ> 運営委員会 <地区> 運営委員会による自主運営とする。
- 5、期 間 2023年4月9日(日) ～ 10月21日(土) の18節（14節）
（下表は基本の日程。各リーグで開催日を設定。）

前期				後期			
節	開催日	1部2部	3部	節	開催日	1部2部	3部
1	4月9日(日)	○		8	7月22日(土)	○	○
2	4月15日(土)	○		9	8月27日(日)	○	○
3	4月29日(土)	○		10	9月3日(日)	○	○
4	5月3日(水)	○		11	9月10日(日)	○	○
5	5月7日(日)	○		12	9月16日(土)	○	○
6	5月13日(土)	○	○	13	10月1日(日)	○	○
7	7月8日(土)	○	○	14	10月9日(月)	○	○
予備	4月22日(土)			PO	10月21日(土)	○2部	○
予備	5月5日(金)			予備	8月5日(土)		
予備	5月20日(土)			予備	8月20日(日)		
予備	7月30日(日)			予備	9月23日(土)		

プレーオフ			
2部PO	10月21日(土)	2部上位	南信地区
3部PO	10月21日(土)	3部上位	南信地区
県参入	11月11日(土) 11月12日(日)	1部1位	松本市内

※ <地区> における日程は、実情により期間内で設定し、連戦を避ける。

※ 当該チームのやむをえない事情等により、この日程によらない場合は、実施委員会の承認を得て、期間内で実施する。

- 6、会 場 運営担当（参加チーム）の確保するグラウンド等

7、参加資格

- (1) 参加チームは2023年度公益財団法人日本サッカー協会に第3種登録または女子登録、もしくは準加盟しているチーム
- (2) 参加選手は2008年4月2日以降に生まれた者で、2023年度公益財団法人日本サッカー協会に登録を完了している者
- (3) 公益財団法人日本サッカー協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、同一クラブ内の別チームに所属する選手は移籍手続きを行うことなく本大会に参加させることができる。この場合、同一クラブ内のチームであれば、複数チームから選手を参加させることも可能とする。ただし、対象となる選手の年齢は4種年代とし、女子に限り3種年代も認める。
- (4) 中学校体育連盟加盟チームは、その中学校に在籍し、かつ、公益財団法人日本サッカー協会の女子加盟チーム登録選手を、移籍手続きを行うことなく、本大会に参加させることができる。ただし、登録している女子加盟チームが本大会に参加している場合を除く。
- (5) (1)～(3)を満たすチームで次の規定を満たす複数合同チーム
 - ア： A) 合同する複数チームが共に11人未満の合同
 - B) 合同する1チームは11人以上、他のチームが11人未満の合同
 - C) 11人未満のチームが他のチームからメンバーを借りて11人以上のチームとなる合同
 イ： 極端な勝利至上主義を目的とする合同ではないこと
 ウ： 合同チームとしての参加を（一社）長野県サッカー協会3種委員長が別途了承すること。

エ：大会参加に伴う申し込み及び事務連絡などに関し、いずれかのチームの代表チームが滞りなく行うこと。

オ：クラブ申請したクラブの合同でないこと。

(6) 同一シーズン中、同一選手が異なるチームへ移籍後、再び参加しようとする場合、必ず下記①②の順序で対応する。

① リーグ事務局を通じて3種委員長の承認を得る。

② (公財)日本サッカー協会への移籍登録を行う。

(7) 参加チームは帯同審判員を有すること。

① トップ1部、2部は3級以上の審判員を2名以上確保し、3級以上が主審を行う。

② 地区リーグ参加チームは、4級以上の審判員を2名以上確保すること。

(8) 参加費を支払うこと。

(9) 参加チームは、本リーグに関わる運営委員を1名選出すること。

(10) 参加選手全員がスポーツ保険などに加入していること。

(11) 参加チームの監督はC級コーチ以上の有資格者であることが望ましい。ただし、地区リーグはこの限りではない。

※2022年よりトップ1部の監督はB級コーチ以上、トップ2部はC級コーチ以上を条件とする。ただし中体連チームおよび取得中の場合については猶予する。

8、参加チーム

(1) 本リーグは、<トップ1部> 10チーム、<トップ2部> 10チームで実施する。

(2) 本リーグは、<地区> (北信、東信、中信、南信) 1部を8チームで実施する。

(3) <地区>の下部リーグは3部までとする。

【1部】10チーム () 内は前年度順位	
①	(北信越 12位) アンテロープ塩尻
②	(1部 2位) F.C. CEDAC
③	(1部 3位) FC ASA FUTURO
④	(1部 4位) アンビシオーネ松本
⑤	(1部 5位) 松本山雅 FC B
⑥	(1部 6位) サーム FC
⑦	(1部 7位) FC LIGARE 上田
⑧	(1部 8位) J.F.C 須坂ヴェンセール
⑨	(2部 1位) FC AZUL
⑩	(2部 2位) 松本山雅 FC 上伊那

【2部】10チーム () 内は前年度順位	
①	(1部 9位) FC 中野エスペランサ
②	(1部 10位) アザリー飯田
③	(2部 3位) 昭和 FC ヴォラーレ
④	(2部 4位) フォルツァ松本
⑤	(2部 5位) 旭町中学校
⑥	(2部 6位) ヴィエント裾花
⑦	(2部 7位) 戸倉上山田中学校
⑧	(2部 8位) 伊那東部中学校
⑨	(地区 1位) C.F.パロ A
⑩	(地区 1位) Laule FC

南信1部		
	チーム名	昨年度
1	FCアビエス	県2部9位
2	赤穂中	1部1位
3	Adii iidA FC	1部2位
4	岡谷東部中	1部3位
5	FC.ZONE	1部4位
6	箕輪中	1部5位
7	NexWay SC	2部A1位
8	松川中	2部B1位

南信2部 A		
	チーム名	昨年度
1	南箕輪中	2部A2位
2	富士見・原中	2部A3位
3	松本山雅FC上伊那B	2部B4位
4	辰野中	2部A6位
5	茅野東部・長峰・永明中	3部A1位
6	箕輪中B	3部B1位
7	NexWay SC B	3部A2位
8	岡谷北部中	3部A3位

南信2部 B		
	チーム名	昨年度
1	緑ヶ丘中	1部6位
2	春富中・高遠中	1部7位
3	旭ヶ丘中	2部B2位
4	Adii iidA FC B	2部B3位
5	宮田中	2部A4位
6	飯島中	2部A5位
7	喬木・鼎・阿智・豊丘中	2部B6位
8	飯田高陵中	3部B2位

南信3部 参加予定チーム								
諏訪	チーム名	昨年度	上伊那	チーム名	昨年度	下伊那	チーム名	昨年度
1	諏訪南中	2部A8位	4	伊那中	2部A7位	7	飯田西中	2部B7位
2	FCアビエスB	3部A4位	5	FC ZONE B	新規参入	8	アザリー飯田B	2部B8位
3	諏訪西中	3部A6位	6	FC ZONE C	新規参入	9	高森中	3部B4位
4	下諏訪社中	3部A8位	未定	赤穂中B	3部B7位	10	FCベルテックス A	3部B6位
未定	岡谷西部中	3部A7位				11	FCベルテックス B	新規参入
						未定	阿南第一中	3部B8位

※南信3部リーグについては4月中に参加確認を行い、チーム数によってリーグ編成を行う。

9、参加費

<トップ> 及び <地区> の各運営委員会で取り決めた金額（南信は、各チーム 10,000 円）

10、チーム編成

(1) 県内 3 種登録全チームより、参加資格を満たし所定の手続きを完了したチーム。

(2) 本リーグには次のカテゴリーを設ける。

ア：<ト ッ プ> 1 部：「高円宮杯」F A U - 1 5 サッカーリーグ 2 0 2 3 長野 トップ 1 部」

イ：<ト ッ プ> 2 部：「高円宮杯」F A U - 1 5 サッカーリーグ 2 0 2 3 長野 トップ 2 部」

ウ：<地 区> 1 部：「高円宮杯」F A U - 1 5 サッカーリーグ 2 0 2 3 長野（北、東、中、南）信 1 部」

エ：<地 区> 2 部：「高円宮杯」F A U - 1 5 サッカーリーグ 2 0 2 3 長野（北、東、中、南）信 2 部」

オ：<地 区> 3 部：「高円宮杯」F A U - 1 5 サッカーリーグ 2 0 2 3 長野（北、東、中、南）信 3 部」

(3) 同一チームが複数チームを編成し（例：A チームと B チーム）、上記ア～オへエントリーすることを認める。

同一カテゴリー内に複数チームをエントリーすることは認めない。ただし、本リーグの最下層カテゴリーのみはこの限りではない。

(4) 1 チームの登録人数は、監督 1 名、コーチ・スタッフ 5 名以内、選手は無制限とする。ただし、試合のエントリーは監督・コーチ・スタッフの合計 5 名以内、選手 2 0 名以内とし、各試合の 4 0 分前ミーティングに提出すること。

(5) 同一チームが複数チーム編成をする場合、監督、コーチの兼任を認める。

(6) 登録された選手が、同一チーム内の複数チーム間を移動することは、毎節、認める。ただし、一人の選手が登録される節数は 1 4 程度とする。ただし、トップは 1 8 程度とし、出場停止中の選手の移動は認めない。選手移動を行うチームは、参加するトップ・地区とともに各リーグに参加する全チームおよび各事務局へ試合 3 日前までにメールにて連絡する。なお、G K については試合当日の変更を可とする。変更数は無制限とするが、極端な勝利至上主義、二重登録等がないようにすること。

(7) 申込後の棄権は認めない。

11、競技方法

(1) グループ内 2 回戦総当り、連戦なしを基本とする。トップ 1 部、2 部及び地区 1 部については、1 日 1 試合、試合時間 8 0 分（4 0 分ハーフ インターバル 1 0 分）で行う。地区 2 部以下については、チーム数、日程等を勘案して各リーグ運営委員会で組み合わせを定める。ただし各チーム 1 日の最大試合数は 2 試合以内とし、連戦を避ける。

(2) リーグ戦順位決定方法は次の通りとする。勝点が多い、（勝ち 3 点、引き分け 1 点、負け 0 点）、当該チーム同士の勝ち点が多い、当該チーム同士の試合の得失点差が多い、全試合の得失点差が多い、総得点が多い、警告数（警告：1、警告 2 枚の退場：3、一発退場：3）が少ない、順とする。

※ 尚、特別な事情により、各チームの試合数に差が生じた場合は、「勝点平均」を採用する。

(3) 南信 2 部は、1 日 1 試合、試合時間 8 0 分（4 0 分ハーフ インターバル 1 0 分）で行う。

(4) 南信 3 部は、1 日 2 試合以内、試合時間 5 0 分（2 5 分ハーフ インターバル 7 分）で行う。（予定）

12、競技規則

(1) 公益財団法人日本サッカー協会制定の 2 0 2 3 年度競技規則による。

13、競技会規定（トップ 1 部・2 部、地区 1 部）

(1) 選手の交代は、試合ごと事前に提出された最大 9 名の交代要員の中から 9 名までの交代が認められる。ただし自由な交代は認めない。

① 選手交代は、後半の交代回数 3 回までとする。（1 回に複数人を交代することは可能）

② 前半、ハーフタイムの選手交代は後半の交代回数に含まれない。

③ 南信 2 部、3 部においては自由な交代を認め、交代回数の制限は設けない。

(2) 本大会で退場を命じられた選手またはチーム役員は、次の公式戦 1 試合に出場できず、それ以降の処置については公益財団法人日本サッカー協会の懲罰規定に基づき（一社）長野県サッカー協会規律委員会で決定する。

(3) 他の公式試合で退場処分を受け出場停止が未消化で、その大会で消化できない場合、本大会に継続される。

(4) 本リーグ戦中、通算 3 度の警告を受けた選手またはチーム役員は、次の 1 試合に出場できない。また、本大会以外には適用されない。

(5) 前各項に関わらず、本リーグの<地区>における競技規則は、地区運営委員会で定めるものとする。

(6) ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ソックス）は正の他に、副として正の色と異なるユニフォームを参加申込に記載し各試合に必ず携行すること（F P・G K 用共）。

① 審判（黒色）と同一または類似したユニフォームを試合において着用することはできない。ゴールキーパーにおいても同様である。

② ユニフォームの色の変更は認めない。各試合の 4 0 分前ミーティングに提出された選手番号の変更は認めない。

- ③ シャツの前面・背面に背番号（１～９９）をつけること。副についても同様である。
- ④ 試合ごとの背番号変更を認める。ただしメンバー表の登録番号は変更できない。
- ⑤ その他の事項については(公財)日本サッカー協会ユニフォーム規定に則る。
- ⑥ 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- ⑦ ユニフォームのデザイン、ロゴなど製品のマイナーチェンジなどによって異なっても、主審が主たる色やデザインが同様と判断すれば着用することができる。
- ⑧ ソックスにテープまたはその他の材質のものを張り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- ⑨ **南信２部、３部リーグにおいては、新１年生のユニフォームの納入が間に合わない場合、ピブス等での対応を認める。ただし、前面・背面に番号をつけること、チームで統一した色であること。**

(7) 各チームでの指導を受けている中学生のユース４級審判員については副審、第４審判を担当することができる。

(8) 昇格・降格・リーグ再編について

- ① トップ１部９位、１０位とトップ２部１位、２位。トップ２部９位、１０位と地区１位、２位は、自動で昇降格となる。
- ② 地区１位、２位については、地区プレーオフにより決定する。なお、プレーオフについては実施委員会にて検討する。
- ③ リーグ内の残留チームに次年度の参加辞退が出た場合は、同一リーグより次順位チームを繰り上げる。また、リーグのチーム数が規程の数に満たなくなった場合、直下のリーグから次順位チームを繰り上げる場合がある。
- ④ 昇格・降格については北信越リーグのレギュレーションにより変更する場合がある。
- ⑤ プレーオフにおいて、複数チームで参戦しているセカンド（サード）チームが参加する場合は、リーグ戦終盤の３節で上位リーグに登録された選手の参加を認めない。

(9) 南信リーグの昇格・降格・リーグ再編について

- ① **南信１部１位は地区プレーオフに参加する資格を得る。ただし、県トップ２部に参加する意思がないチーム１位になった場合は、次順位チームを繰り上げる。**
- ② **南信１部７位、８位と南信２部ＡおよびＢの１位。南信２部ＡおよびＢの７位、８位と南信３部ＡおよびＢの１位、２位は、自動で昇降格となる。ただし、県トップ２部からの降格チーム数によって、昇降格チーム数を変更する。（別資料「23-24 南信リーグ昇降格について」参照）**
- ③ **次年度リーグ開始前に様々な事由でリーグの構成チーム数がかけた場合、南信リーグ実施委員会で検討し、次年度のリーグ構成を決定する。**

14. 参加申込

(1) 所定の参加申し込み用紙に必要事項を入力／記入の上、次のようにする。

ア：参加申込書を指定された担当者へメール送信する。

イ：参加費を指定口座に振り込む。

ウ：メール送信及び参加費振込みは各事務局の指定した期日に従うこと。

(2) 申し込み先 各リーグの指定の申し込み先とする。

(3) 参加費振込先 後日事務局から連絡

15. 表彰

(1) 各カテゴリー（＜トップ＞＜地区＞）の１位～３位に賞状を授与する。

16. その他

(1) 運営担当チームは、「会場の準備・試合運営・片付け」を行う。なお運営に関わる姿勢に問題がある場合は、リーグ実施委員会にて指導などについて検討する。また、リーグ運営は参加チームによる自主運営の精神に基づき会場の準備・片付け及び運営担当チームを中心に、**原則全参加チームが行うものとする。**

(2) チーム役員は試合中必ずその場にいること。その運営能力に問題がある場合は、リーグ実施委員会にて指導などについて検討する。

(3) 運営担当チームは、試合結果を速やかに①信濃毎日新聞社へ FAX またはメール、②リーグ参加チーム、③事務局へ Eメールにて連絡をする。この結果を受け事務局は、速やかに(一社)長野県サッカー協会「掲載依頼フォーム」にて連絡をする。（協会ホームページの３種試合結果 URL は「https://www.nagano-fa.or.jp/cat_3」）

(4) 第１試合は開始４０分前にメンバー表２部を提出し、ユニフォームの決定を行う。２試合目以降は、前の試合のハーフタイムまでに同様の手続きを行うこと。

(5) 各チームの帯同審判員は、指定された試合の４０分前に会場本部に集合し、対戦チームのユニフォーム決定などを行う。

(6) ベンチは組み合わせ表左側のチームが本部からピッチを見て左側とする。

- (7) 各チームはweb登録を完了した上、選手証または登録一覧表を持参する。その際、登録メンバーを登録順に並べておくこと。
- (8) 試合を効率的に行なうため、対戦両チームから2球ずつ持ち寄り4球のセミマルチボールを採用しスピーディーな試合を行う。
- (9) 一発レッドが出た場合、運営担当者は①主審、②該当選手または指導者、③該当監督、から聞き取りを行い、A) 退場処分となった状況、B) 理由、を確認し、リーグ事務局に速やかに報告する。リーグ事務局は、3種規律担当の高橋委員に速やかに報告し、その後の対応について指示を受ける。
- (10) 大会規定違反や運営委員会の指示に従わず著しく競技運営に差しさわりのある事項が発生した場合は、会場担当者・運営担当者により実施委員会に報告され、指導を受ける。その後の処置は(一社)長野県サッカー協会規律・フェアプレー委員会で決定する。
- (11) 本要項の内容について、主に上位リーグである北信越リーグの規定変更などにより変更または検討の必要が生じた場合、リーグ実施委員会により変更する場合がある。また、本要項に規定されていない事項については、リーグ実施委員会において協議の上決定する。
- (12) 本リーグにおいて、ウェルフェアオフィサーの配置を促進していく。可能な限り、設置できる試合から配置していく。
- (13) 新型コロナウイルス感染防止についての対策は、主に以下の対応を行う。①選手・スタッフの体調管理については、各チームで責任をもって行う。(名簿の提出を必要としない) ②マスク着用については、必要な場合に着ける。③飲水タイムについては、80分ゲームの場合は原則として20分程度で取る。④声出し応援はマスク着用の上、可とする。なお、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更となった場合の対応については、改めて対応について各チームに連絡する。